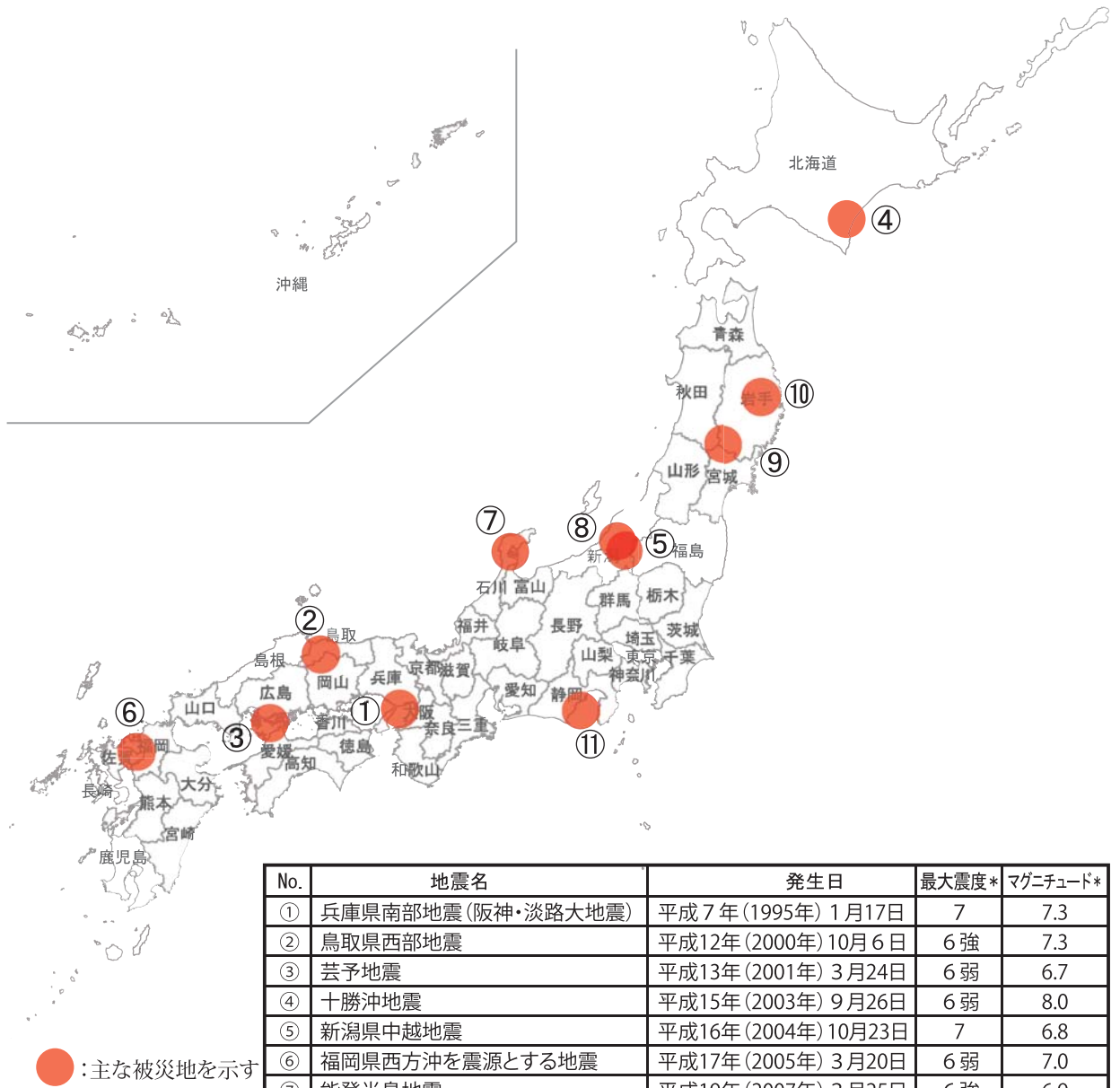


# 1 全国各地で地震が発生しています

世界有数の地震国である日本は、特に近年全国各地で大地震が発生しており、また今後多くの箇所地震の発生する可能性が指摘されています。

## 近年の主な地震の発生状況

兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）以降の主な地震の発生状況です。北海道から九州まで全国各地で発生していることがわかります。

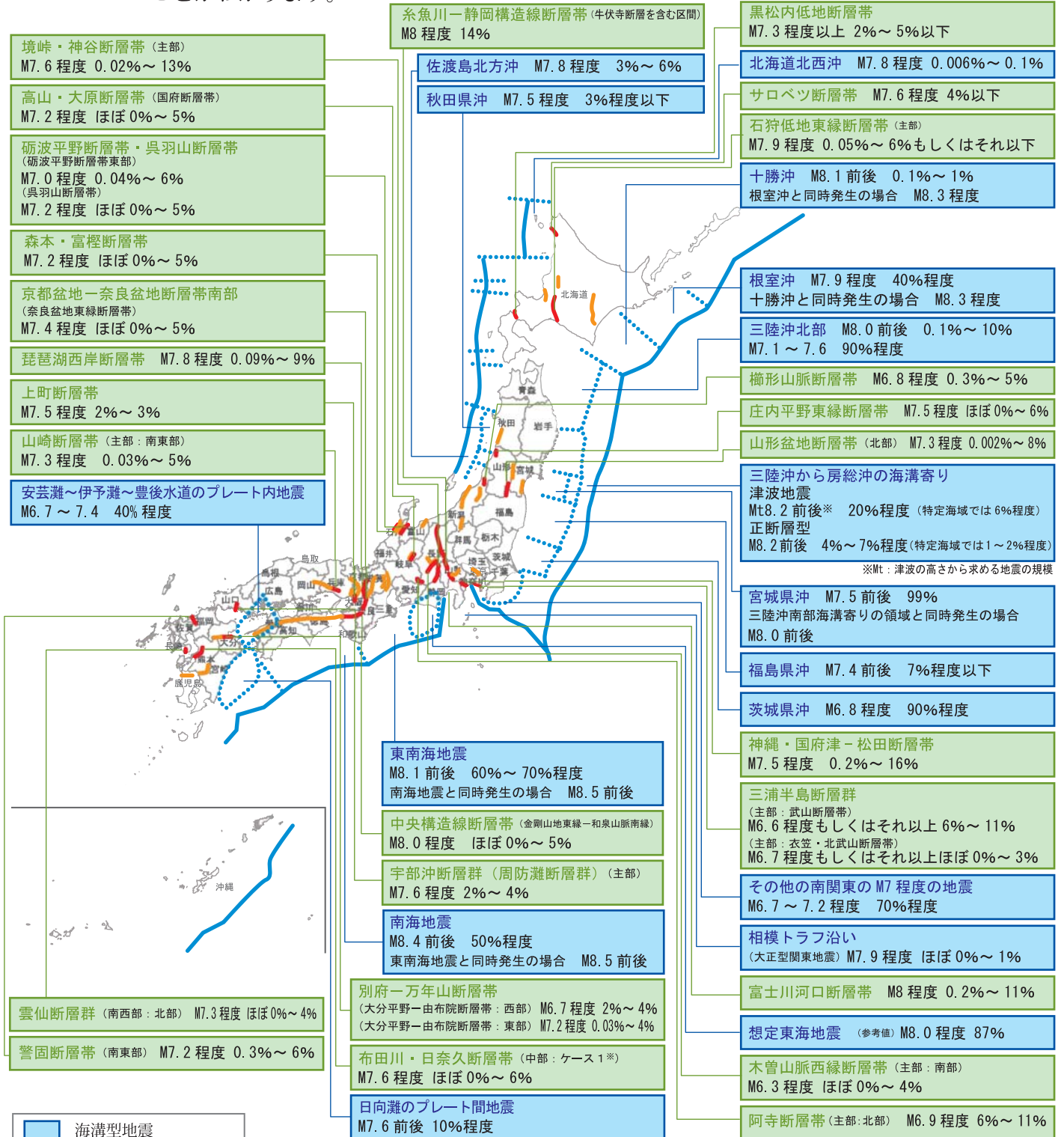


| No. | 地震名               | 発生日                | 最大震度* | マグニチュード* |
|-----|-------------------|--------------------|-------|----------|
| ①   | 兵庫県南部地震(阪神・淡路大地震) | 平成7年(1995年)1月17日   | 7     | 7.3      |
| ②   | 鳥取県西部地震           | 平成12年(2000年)10月6日  | 6強    | 7.3      |
| ③   | 芸予地震              | 平成13年(2001年)3月24日  | 6弱    | 6.7      |
| ④   | 十勝沖地震             | 平成15年(2003年)9月26日  | 6弱    | 8.0      |
| ⑤   | 新潟県中越地震           | 平成16年(2004年)10月23日 | 7     | 6.8      |
| ⑥   | 福岡県西方沖を震源とする地震    | 平成17年(2005年)3月20日  | 6弱    | 7.0      |
| ⑦   | 能登半島地震            | 平成19年(2007年)3月25日  | 6強    | 6.9      |
| ⑧   | 新潟県中越沖地震          | 平成19年(2007年)7月16日  | 6強    | 6.8      |
| ⑨   | 岩手・宮城内陸地震         | 平成20年(2008年)6月14日  | 6強    | 7.2      |
| ⑩   | 岩手県沿岸北部を震源とする地震   | 平成20年(2008年)7月24日  | 6弱    | 6.8      |
| ⑪   | 駿河湾を震源とする地震       | 平成21年(2009年)8月11日  | 6弱    | 6.5      |

兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)以降の主な地震の発生状況

## 今後の地震の発生の可能性

下図は、今後30年以内に地震が発生する可能性のある箇所と、地震の規模を示しています（平成20年（2008年）1月1日現在）。北海道から九州まで全国的に分布していることがわかります。



※Mt：津波の高さから求める地震の規模

※布田川・日奈久断層帯は、2つの可能性が考えられることから、2つのケースに分けて評価しており、図中は、ケース1の可能性。

(「地震がわかるQ&A」(文部科学省 研究開発局 地震・防災研究課) をもとに作成)

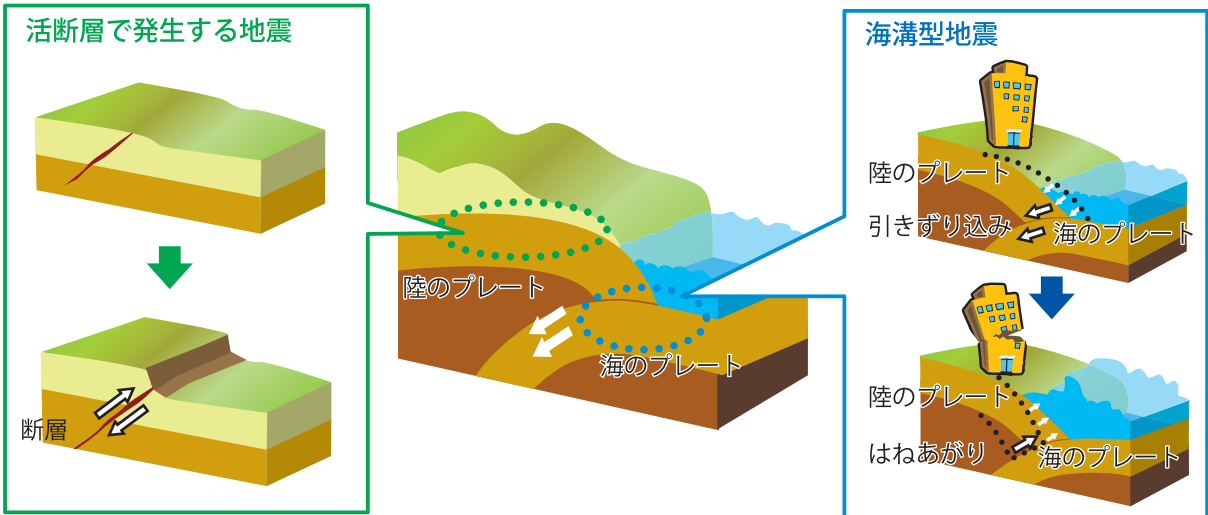
今後の地震の発生の可能性

## コラム 地震のメカニズム

地球の表面は十数枚の「プレート」と呼ばれる固い岩石の層に覆われています。このプレート同士がぶつかったり、押し合ったりして、プレート内部に力が加わります。これが地震の主な原因です。代表的なものとして、活断層で発生する地震や、プレート同士の境目付近で起こる海溝型地震があります。

活断層で発生する地震は、海のプレートの動きなどによって、陸のプレート内に力が加わることで発生します。平成7年（1995年）に発生した兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）もこのタイプの地震でした。

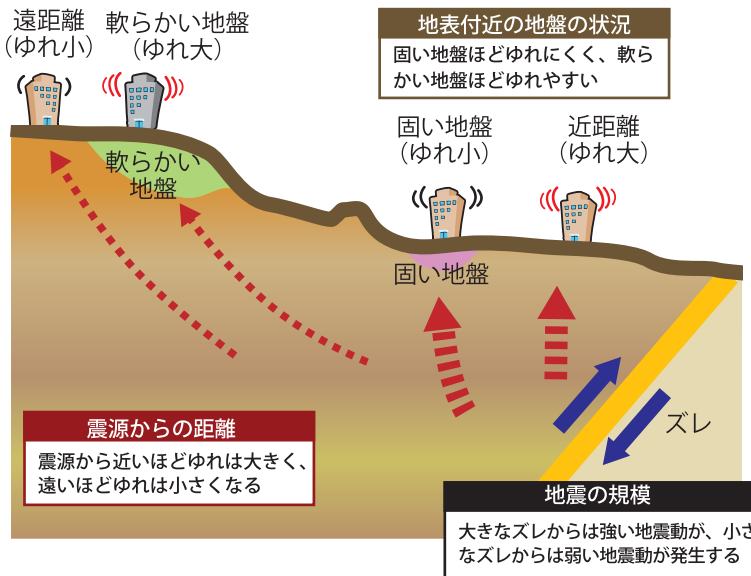
海溝型地震は、海のプレートが陸のプレートの下へ沈み込むときに、陸のプレートの先の方も下に引きずり込まれ、この陸のプレートがその力に耐えきれず、元に戻ろうとするときに発生します。このタイプの地震は、津波を伴う巨大地震となる場合があります。



（「地震を知ろう-地震災害から身を守るために-」（文部科学省 研究開発局 地震・防災研究課）をもとに作成）

## コラム 地震のゆれの伝わり方

地震のゆれの伝わり方はさまざまです。地震の規模、震源からの距離、地表付近の地盤の状況によって、地表でのゆれの大きさは異なります。



（「表層地盤のゆれやすさ全国マップ」（内閣府）をもとに作成）